



ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

会報 No. 1132 豊橋東ロータリークラブ

2020-2021

第17回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和2年11月18日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA

担当：会計

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」：居平 文孝 さん

ゲスト なし

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	11月4日修正出席率	ビジター
	51名	46名	5名	10名	78.26%	100%	2名

会長挨拶

角谷 歩 会長

11月に入った頃から新型コロナの陽性者数が急増しており、先週末には7-8月のピークを上回りました。今回は、東京、大阪、名古屋といった大都市はもちろんですが、北海道をはじめとして地方都市にも広がりを見せていることが特徴です。北海道は10日に警戒レベルを3に上げ、昨日は札幌市に限り4と更に引き上げました。豊橋でも10月末に大規模なクラスターが発生しましたが、3月に補助金事業を行うことになっている気仙沼市7のある宮城県でもここ半月で陽性者数は倍増、病床使用率も75%近くにのぼっています。私たちの例会や事業も感染拡大防止につき一層の努力が求められています。「感染しない」「感染させない」ために工夫を凝らしてまいります。情勢が刻々と変わって来、直前のお知らせとなる場合もありますが、どうぞご寛恕のほどをお願いいたします。

地区大会 PR

本年度のホストクラブ知立 RC より地区大会実行委員の中川 敦 氏と野村 智之 氏がお見えになり PR されました。



本日のプログラム

創立 25 周年 (クォーター) を迎えるにあたり
～豊橋東 RC 原点から未来へ～

中野 亘 さん 豊橋東 RC は平成 8 年 1 月 10 日に第 1 回仮例会が開催されました。当時のメンバーは 30 代から 40 代が中心。その年の 7 月には 32 名の会員になりましたが、親睦委員長を仰せつかったこともあり、この 5、6 年の間には是非とも会員 50 名を達成したいと思っていました。落合さんや柴田さんと 3 人で名簿を作ったりして、3 年半後には 51 名を数えるクラブになりました。私はこのクラブをスリープしていたこともありました。出てくる気が起きなかった。そういったことも皆さんもあると思います。でも声を掛けていただいたりして、今では出てきたいなと思えるクラブになっていると思います。新しく入ってきた方々が頑張ってく



れることが東 RC の姿だと思っています。

小林 佳雄 さん RC というのは常に伝統や格式に溺れることなく、アクティブに活動すること、新しい会員が入ってくれるという新陳代謝があって健康的なクラブであることが大事です。特に新陳代謝ですけど、新しい会員が入って尚且つ自然と人間関係ができていくということが重要だと思います。私も 10 周年の時にビジョン委員会の委員長を指名されて、委員の皆さんに「良いロータリークラブ」の条件や「今の豊橋東 RC の良いところ」を伺いました。「何でも言い合える」、「若い会員が行動力があるクラブ」などご意見をいただきましたが、当時の私はいつになっても若い人が上の人から抑えられると思っていました。非常にもったいないことだと思います。自由な気持ちで思いをもってお付き合いしていけば、最高のクラブになると思っています。



川西 裕康 さん 私自身 20 周年の時に会長になるにあたって一番参考にさせていただいたものが 10 周年のときに「際」という言葉であり、「違いを楽しみ交わろう」、これがうちのクラブの一番核心の部分だと思いやらせていただきました。また、20 周年の時はバックで今は亡き柴田さんが全部、組織化についてアドバイスいただき、支えていただき、そして皆さんのおかげで素晴らしいものになりました。25 周年が益々素晴らしい年になりますことを願ひまして今日のお話とさせていただきます。



3分間スピーチ

渡邊 茂 さん

最近、相談事がありました。内容は建物を建て替えたこととありましたが、ただ、その建物は道の上に建っている。建て替えるには道路の付け替えが必要で隣の家に測量もしなければならぬ。しかしお隣の方は 40 年前から相続がしてなくて、相続人は遠方にいらっしゃる。他にも様々な問題がありました。今回の教訓といたしましては、相続関係はできるだけお子さんに迷惑をかけない。次代に遺恨を残すようなことのないように、というお話です。



原稿：杉浦 正和 さん / 写真：縣 秀尚 さん